

共生

奈良県生協連

2001年10月

NO.42

万葉のいづきを求めて—(7)



高円山(右端)を望む

春日野に 時雨ふる見ゆ 明日よりは ^{もみち}黄葉かざさむ ^{たかまと}高円の山

^{ふじわらのあそみ}藤原朝臣 ^{やつか}八東

春日の岡に時雨が降っている。その奥の^{たかまとやま}高円山は、明日からは「もみち」をかざしたように美しく色づくことだろうよ。

「もみち」は今日のように紅葉と書くようになったのは平安時代の頃からで、それまでは黄葉であった。

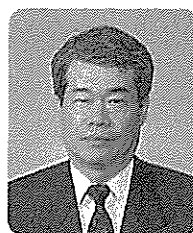
新薬師寺から白毫寺へむかう高畑の道は、深い詩情を感じさせる道であるが、最近は新しい建築物が増え、次第にその面影が薄れてきつつあるのは寂しい限りである。白毫寺の背後の高円山に8月15日には大文字の送り火がたかれ、大和の夏の風物詩の一つとなっている。

今日も高円山は時雨に煙り、秋の深まりを感じさせていた。

奈良県労働者共済生活協同組合創立40周年を迎えて

奈良県労働者共済生活協同組合専務理事
奈良県生活協同組合連合会副会長

松村昌治



1961年5月16日に設立された奈良県労働者共済生活協同組合(奈良労済)が、本年創立40周年を迎えることになりました。昨今の共済・保険業界を取り巻く厳しい経営環境を見るまでもなく、これまでも幾多の厳しい状況に遭遇しながら、それを克服し今日の発展の礎を築いていただいたたくさんの諸先輩や関係者のみなさんに、心よりの敬意と御礼を申し上げたいと思います。

奈良労済の事業状況を少しご紹介いたしますと、2001年5月末現在で、組合員58,997人、協力団体266団体、契約高では2兆8千億円に達するなど、着実に事業拡大を図らせていただいております。しかし、まだまだ全国的な規模では、47都道府県の各労済生協の中で下位に位置する順位にとどまっているのが現状です。21世紀に確固たる基盤を築くためにも、これからも組合員の福祉向上と労済運動・事業の発展をめざして、持続的な取り組みの強化を図らなければならないと考えています。

そこで奈良労済創立40周年にあたっては、事業と運動に結集をいただいている組合員、協力団体を始め、日ごろお世話になっている労働団体、福祉事業団体、関係団体とともに40周年の節目の年度を祝いながら、更なる事業拡大の発展を期して、40周年にふさわしい活動を展開しようということで、理事会に40周年記念行事実行委員会を設置し、これまで検討を重ねてまいりました。今後予定される40周年記念行事としては、(1)記念行事に関するものとして、「40

周年記念祝賀会」や「親子のふれあいチャリティー劇場」を開催するとともに、(2)推進キャンペーンに関するものとして、「職域推進キャンペーン」及び「地区推進会推進キャンペーン」を2001年度の事業推進計画の柱として実施することなどを計画いたしております。これらの活動を通じて、広く県下の勤労市民、生活者から認知され、組合員から信頼される奈良労済として発展するよう、役職員一丸となって邁進していく所存です。今後も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

他に40周年記念事業の一環としてこの間検討を進めてきた課題に、地区推進会の設立がございます。これは奈良労済の事務所が県下一カ所という状況もあり、地域に事業推進拠点をもたなかったということでは、これまで懸案課題の一つでした。これまで3カ年にわたる理事会等での検討をいただき、県下3地区に地区推進会を設立することをめざして準備をすすめ、本年6月に「北・中・南地区推進会創立総会」を開催し、活動のスタートをきることができました。これまでの産別を中心にしたタテの取り組みにあわせて、これからは地区推進会を中心にしたヨコの取り組みにも、大きな期待を寄せております。県生協連に結集される組合員のみなさんとは、今後地域での交流が図られればと思います。紙面の関係もありあまり十分な報告とはなっておりませんが、最後に奈良労済に対する変わらぬご支援・ご指導・ご鞭撻をお願いし、ご報告といたします。

もくじ

労済生協創立40周年を迎えて	2	福祉	8	広がる協同・くらしの輪	12
新理事紹介	3	食の安全	9	つながる連帯・友好の輪	14
平和	4	環境	10	県連日誌・お知らせ	16

新理事紹介

新たに選任された理事より 決意を語っていただきました



奈良高専生協
鍵本 有理

奈良高専生協は設立6年目を迎えました。5周年の時はカレーライスを一皿50円で提供するなど、学生と共にいろいろな活動を行ってきましたが「生協があつて当たり前」という時期になり、立ち上げから次の段階へとさしかかりました。これからは、食堂のメニューの見直しや、書籍部・購買部の品揃え等、新たな課題に取り組まなければなりません。

幼い頃から地域の生協活動を見て育ってきましたので、生協というもののある程度は理解しているつもりです。高専の場合は、高校生の年頃から「組合員」となるわけですから、制度の説明なども工夫しなければなりません。自分の教えている学生が、生協に関心を持ってくれるなど、やり甲斐もあります。

この度、専務理事をお引き受けすることになり、高専でも数少ない女性教員という視点を生かし、これまでの理事経験者や理事長、店長と協力しながら、全国で現在のところ唯一の高専生協として、新たな展開ができるよう、精一杯努める所存です。よろしくお願い申し上げます。



奈良県立大学生協
津田 康英

3年ぶりに専務理事に復帰いたしました。久しぶりに出席した県連総会後の懇親会では、旧知の理事の方々から「随分太りましたね」と早速温かいお言葉を賜りました。私の体形とは反対に生協の名称は、今年から「商科」の2文字がとれてスリムになりました。奈良県立大学生協になってから数ヶ月が経ちましたが、学生委員は例年になく活発で、これまで年1回だった大和路通信を年4回に増やす計画をたて、6月には夏号を初めて発行しました。また、大学生協京都事業連合から店長を派遣して頂いたこともあり、新たな夕食メニューに取り組む学生委員にも熱が入っています。私の方は裏方役に徹して大学当局との調整を進めたり、誰も気づかないままだった店舗の表示を人知れず直したりしてきました。本学は今年から新たに地域創造学部を掲げました。本学の学生が奈良の生活協同組合と交流しながら、地域創造とは何かを考える機会を見つけられるようになればと思っています。現在の学生委員は県外出身者が多いためか、活動は大学の枠内だけにとどまりがちです。私は地域生協との橋渡し役として、奈良の生協の様々な取り組みを学内に伝えていきたいと考えています。



奈良教育大生協
宮崎 浩三

奈良教育大生協に赴任して早3ヶ月になりましたが、教育大生協の中身をどう改善して行くのかと言う課題に対して日々追われているのが現実です。この3ヶ月間は生協内自体の問題に関心を持って対応してきています。それは私を含めて従業員一同が組合員さん達にどうしたら喜んでもらえるのか？もう一度考え直す事が必要ではないかと言う原点に根ざしたものと考えています。職員は朝出勤すると何をするのか？ピーク時には何をするのか？午後の閑散期は何をするのか？もう一度一から見直しが必要と考えています。生協を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、それは他人事と受けとめる迄はいかなくともそれに近いものがあります。例えば食堂で見れば学生組合員の生活は年々厳しくなってきました。その中で生協は本当に学生組合員の食を健康なものに近付ける事が出来ているのか。又は近付けようと日々努力してきているのだから？組合員の声からすると「生協食堂の消費税はなしで対応出来ないのでしょうか？」とか「もう少し安くならないのでしょうか？」等の声が出ています。これらの声に対して生協として真剣に考え、できる事はできるだけ早く対応する事が大切です。このような要望は単に食堂だけではなく購買部にも共通する事柄と考えています。

このような要望に応える為には大学生協だけではそれ程の改善は望めないのではないのでしょうか。むしろ奈良県生協連での輪の基に更に力づよい改善が出来るのではないのでしょうか、と考えています。奈良県生協連理事とは名ばかりで申し訳なく思っていますが今後とも宜しくお願い致します。

平和

2001奈良県市民平和行進を終えて

—387人が一緒に歩きました—

5月6日、東京夢の島を出発した「2001市民平和行進」は、1,200kmを歩き続け、8月4日、広島平和公園にゴールしました。21世紀を、ほんとうに平和で文化的な生活を送れる世界にしていきたいと願い、被爆者や市民団体の人々と手を携えながら、平和を求め核兵器の廃絶を求めて県内各地を行進し、市民の平和への想いをリレー平和活動として地域全体に広げたいと、今年も大勢の市民の熱い思いや被爆者の願いを届けようとがんばりました。

県内行進は、6月26日京都から引き継ぎ、天候に恵まれた5日間、ならコープ各地区ブロック委員会のバックアップに支えられ、ならコープ組合員と、職員が一体となって県内各地をリレー行進、各地で「平和のつどい」を持ちました。行進・つどい参加者は延べ804人となりました。



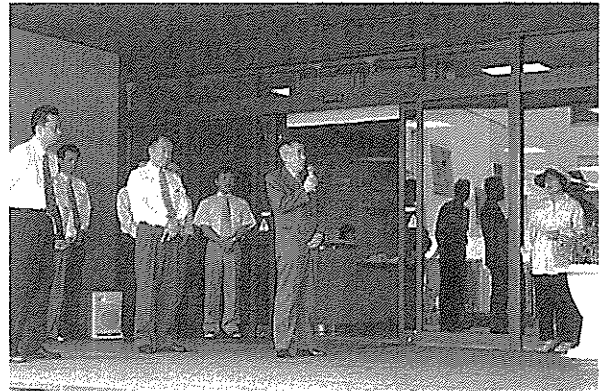
▽6月27日(水) 10時に郡山市役所で出発集会、企画部吉井次長よりメッセージをいただき、筒井街道北進、青葉台住宅経由でコープいまご店に向け行進し、到着後「平和のつどい」を持ちました。

▽6月26日(火) 昼過ぎから般若寺において京都からの引継ぎ集会が行われ、各代表より歓迎のメッセージをいただき、ならコープ本部に向けて県内行進がスタートしました。途中、県庁前で県国際課中村課長より、また奈良市役所では商工労政課福井主幹より激励のあいさつをいただきました。

ならコープ本部到着後「わかくさの会」被爆者の方々と、グループ毎に平和交流会を持ちました。



▽6月28日(木) 10時に榎原市役所にて出発集会、藤本助役から励ましのあいさつをいただき、八木駅経由でコープみみなし店に向かい行進しました。南和地域への平和行進は今年が初めてで、身近になった平和行進に南和地域みんなの思いを一つにして行進に参加しました。コープみみなし店にて「平和のつどい」を持ち、大月さんの被爆体験に聞き入り、その後ブロック委員さんから地場の三輪素麺と治道トマトの接待を受け、大感激しました。



榎原市役所 藤本助役のあいさつ



▽6月29日(金) 9時30分、王寺町役場にて出発集会、王寺町役場では田中総務部長から、三郷コミュニティセンターでは福森総務部長から激励のメッセージをいただき、夕陽ヶ丘経由でディアーズコープたつたがわ店へ向かいました。例年ここは行進の最終日で引継ぎのため「つどい」はなかったのですが、今年はじめて「平和のつどい」を持ち、多彩な企画で盛り上がり参加者全員が大きな輪になりました。



▽6月30日(土) 10時からコープたかだ店にて、大阪へ引き継ぐ前の「平和のつどい」が行われました。高田での集会は今年が初めてで、平和への思いを綴った小学生の作文が朗読され参加者の胸をうちました。その後、柏原市役所にて県内行進中皆様からいただいた、たくさんの「平和の大切さ」を確認する元気な力と熱い想いを、大阪へと引き継ぎました。

PEACEMARCH WEEK 2001 in なら

広かれ平和 み～んなで支えた5日間

<ならコープ運営通信8月号抜粋>

今年の奈良県市民平和行進は、天候にも恵まれ、5日間の行進・つどいに延べ804人の参加、そして多数のメッセージと想いを託して無事大阪に引き継ぎました。とくに今年は初めて橿原市内を行進、大和高田市から大阪へ引き継ぐなど、組合員と職員が一体となって地域との関わりを大切にしながら平和行進をすすめました。5日間を支えた組合員のみなさんにスポットをあてて紹介します。

地域で平和行進を支えたそれぞれの委員会

◇11地域委員会の思いも一緒に行進

中部ブロック委員会

5月の地域委員研修会の場で平和行進の説明をし、地域委員会ごとに布に寄せ書きをしてもらいました。11地域委員会とブロック委員会の思いを横断幕にして県内を一緒に行進しました。

◇地元の三輪素麺でもてなし

桜井ブロック委員会・コープみみなし店舗活動委員会

これまでなかなか身近に感じるができなかった平和行進が初めて南和地域へ。桜井エリアではみんなの思いを一つにして、行進に参加するとともに行進団を地元の三輪素麺でもてなしました。

◇ディアーズコープたつたがわで初めてのつどい

香芝ブロック委員会

例年、香芝エリアは行進の最終日で、すぐに大阪へ引継ぐため、つどいはありませんでした。つどいではミニコンサートをおこない、通し行進団が手話コーラスで飛び入り。会場は大いに盛り上がり、最後は「たんぽぽ」の歌で参加者全員が大きな輪になりました。

◇広島へ千羽鶴と子どもたちの作文

高田ブロック委員会

大阪に引き継ぐ直前のつどいでは、平和への思いをつづった3人の小学生の作文が朗読され参加者の胸を打ちました。この作文と一緒に12地域委員会と組合員係、ブロック委員会で折った千羽鶴、旅のお伴にと吉野の梅干、葛根湯などを通し行進団に贈りました。

タスキをかけて歩いた組合員行進者それぞれの思い

◇平和への思いが倍増

当麻町 田中一義

3年前に広島に引っ越した娘から平和行進の話聞いたことがきっかけで、初めて夫婦で参加しました。みんなと一緒に歩いていると、だんだん核廃絶や平和への思いが倍増してきました。

◇黙っていても守れない

奈良市 堀江陽子

大和郡山市内を歩いているとき、数人の組合員さんが沿道で待っていてくださったことにとても感動しました。さまざまな人と交流して、平和は黙っていても守れないと実感しましたね。

◇タスキの重みが伝わって

斑鳩町 中村洋子

これまで通し行進者の応援をしてきたのですが、今回は反対に以前通し行進者として歩いた職員さんから「がんばって歩いてくださいね」とタオルを渡されました。多くの方に声をかけてもらいタスキの重みが伝わってきました。

◇孫や子どもたちのために

天理市 吉田直子

小学3年生のとき終戦を迎え戦争の恐ろしさを知っています。孫や子どもたちのためにも戦争は絶対してはならないです。平和に無関心の人が多いですが、平和について何らかの形で関わり、ぜひ将来を守ってほしいですね。

ヒロシマ行動参加レポート

◇ふたたびのヒ・ロ・シ・マ

こむらいふ 久保とき代

連日、真夏の暑さが続く奈良を後に広島に出発。さて、二度目の広島はどんなドラマが待っていることやら…。

平和記念公園での平和行進者の出迎え。光井さんの原爆投下時の話。相良さんによる碑めぐりと原爆資料館の見学。一つ一つの話が心にしみ透る。

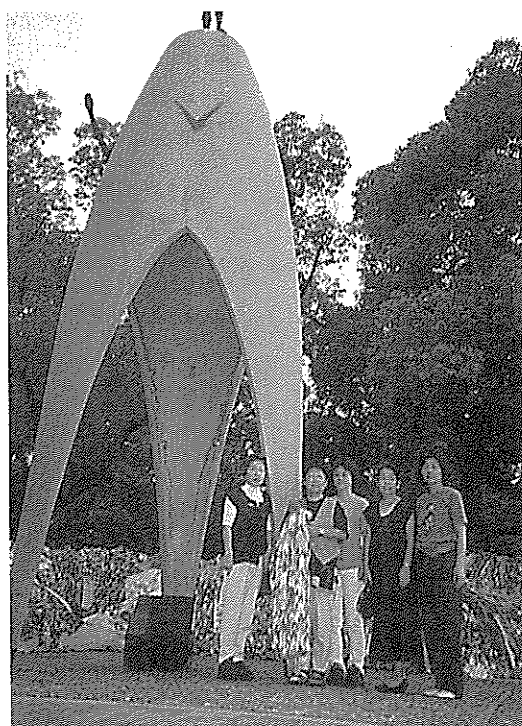
二日目「舟入むつみ園」見学。被爆者の澤井敬さんにお話をうかがう。午後は「虹のひろば」に参加。

プログラム中の「ヒロシマからのメッセージ」の子どもの声「何もしないのは、ヤジ馬といっしょ」が心に残る。

最終日、朝5時40分、お線香のけむりと香りに包まれる平和記念公園を訪れる。いたる所でそれぞれの平和の祈りが…。平和祈念式8時15分、平和の鐘の響きを身体に受けとめながら黙とう。

その後陸軍の弾薬庫後を改装した「似島学園」を見学。今年が最後になると言う。

二回目の広島は、前回とはまったく違った。多くの「人」と出会い、すばらしい「言葉」をもらった。特に似島学園の荒木先生の言葉「みんなでいい歴史を創っていったらそれでええ」「生きとかなあかん」「一つの行動に答えを求めたらあかん」う〜ん サイコウ…。



福祉

福祉活動学習交流会 (ならコープ福祉委員会主催)

9月11日あすなら苑(特別養護老人ホーム)において開催されました。最初に「ボランティアの新しい風 ～援助を受ける人たちとの豊かな協働関係を築くために～」と題して、早瀬 昇氏(大阪ボランティア協会理事兼事務局長)の講演がありました。ボランティア活動は行政や企業が行う活動とどのように違うのか、何故ボランティア活動を行うのか、どのようなむずかしさがあるのか等、日頃悩みながら活動している参加者にとって元気の出る講演でした。講演の後、3つの分科会に分れて討論を行いました。

- ：第1分科会 食を通してのボランティア
- ：第2分科会 地域ボランティアを育てる
- ：第3分科会 私のボランティア観

あすなら苑の現状(8月末現在)

1) 特養(定数54名)

- ①入居者数 男性 10名 女性44名
- ②入居者の年齢 最低62歳 最高94歳 平均83.6歳
- ③介護認定の結果

介護度	1	2	3	4	5	合計
人数	2	15	6	18	13	54

2) ショートステイ(1日利用定数16人)

- ①2000年度(4月～3月) 1年間利用人数 2,525人 月平均 210人 1日平均 6.9人
- ②2001年度(4月～8月) 5ヶ月間利用人数 1,540人 月平均 308人 1日平均 8.1人

3) デイサービス(1日利用定数30人)

- ①2000年度(4月～3月) 1年間利用人数 5,272人 月平均 439人 1日平均 14.4人
- ②2001年度(4月～8月) 5ヶ月間利用人数 2,804人 月平均 561人 1日平均 18.0人

4) 支援センター(相談件数)

- ①2000年度(4月～3月) 1年間利用人数 5,591人 月平均 466人 1日平均 15.0人
- ②2001年度(4月～8月) 5ヶ月間利用人数 2,266人 月平均 453人 1日平均 14.8人

5) 面会者

- ①2000年度(4月～3月) 1年間利用人数 3,716人 月平均 309人 1日平均 10.2人
- ②2001年度(4月～8月) 5ヶ月間利用人数 1,535人 月平均 307人 1日平均 10.0人

6) 見学者

- ①2000年度(4月～3月) 1年間利用人数 1,298人 月平均 108人 1日平均 3.6人
- ②2001年度(4月～8月) 5ヶ月間利用人数 293人 月平均 58人 1日平均 1.9人

7) 会議利用者

- ①2000年度(4月～3月) 1年間利用人数 8,197人 月平均 683人 1日平均 22.0人
- ②2001年度(4月～8月) 5ヶ月間利用人数 3,546人 月平均 709人 1日平均 23.2人

8) ボランティア活動

- ①2000年度(4月～3月) 1年間利用人数 1,265人 月平均 105人 1日平均 3.4人
- ②2001年度(4月～8月) 5ヶ月間利用人数 694人 月平均 138人 1日平均 4.5人

食の安全

今後の食の安全の取組みについて

1) 奈良県の食品安全行政充実・強化の取組み

2月県議会の請願趣旨採択を受けて、衛生研究所との懇談、あすなら塾(谷川さんを招いて埼玉の経験を学ぶ)を開催しました。そして、現在次の準備を進めています。

- ・「食の安全懇談会」をたちあげる。この懇談会は署名協力いただいた団体等に働きかけてネットワークを広げる。「食の安全懇談会」の位置づけは、当面は学習を中心に進め現状での問題点などを広く学ぶ場とします。合意が得られれば、将来的に奈良県の食品安全行政の充実・強化のために県の関係部署との懇談、懇話会設置に向けた働きかけも検討します。

：第1回懇談会を9月4日奈良県文化会館第1会議室に於いて開催『講演「食の安全をめぐる情勢を学ぶ」講師 宮崎隆典氏(食品の安全最前線著者)』以後、数回開催予定。

- ・県生活衛生課との懇談を進める。
- ・県庁内連絡会議の進捗状況を把握し、懇話会設置に向けた働きかけを行う。
- ・厚生委員会の議員へ情報提供するとともに、話し合いの場を設定する。
- ・これらの取組みについての広報活動を強化する。

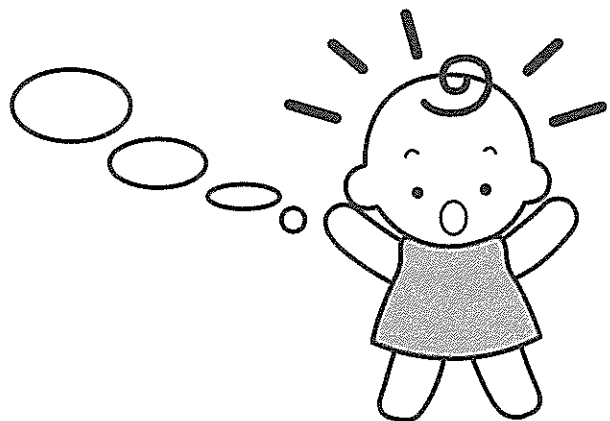
2) 食品衛生法改正国会請願再提出に向けた取組み

昨秋キャンペーンに取り組んだ食品衛生法改正請願署名は奈良県で27万筆、全国でも1373万筆という大きな数を集約することが出来ました。しかし第151回通常国会では審査未了となり採択されないという大変残念な結果になりました。1373万人という多くの消費者の願いを無にすることがないようにと、今秋の第153回臨時国会に請願を再提出し採択をめざします。今回改めて署名を呼びかけることはせずに、1373万筆の署名実績を背景に個人署名で紹介議員の依頼をし、請願の再提出をします。(請願の趣旨は変えずに内容・文言について日本生協連で再検討)現在次の準備を進めています。

- ・県連とならコープで、県内選出国會議員との懇談をすすめ、請願書再提出紹介議員の依頼をします。
- ・ならコープでは、ブロック委員会・店舗活動委員会・専門委員会対象に組合員集会を開催し、審査未了からの経過の報告、再提出する請願内容の学習をすすめます。その学習を受けてエリア協議会、各ブロック・店舗活動委員会、地域委員会での報告・お知らせをします。また、運営通信を中心に進捗の報告を重点的に行います。同時にブロック委員会・店舗活動委員会単位での委員会決議に取り組みます。

◇スケジュール

- 9月 国會議員懇談
食の安全懇談会(9/4)
請願内容確定(下旬)
臨時国会開会(9/27)
- 10月 請願再提出組合員集会(10/22)
請願紹介議員の依頼
- 11月 エリア協議会・各委員会説明
請願書提出
- 12月 臨時国会閉会
請願採決(中旬)



環 境

『センス・オブ・ワンダー』上映会&講演会in奈良に参加して—その感性の中に身をおいでみて—

まず、講演会で上速恵子氏の持つ雰囲気のすばらしさに感動、憧れて『講演会から参加してよかったー!』と思いました。タイトルを取って日本語訳の題にせず「センス・オブ・ワンダー」となっているのも彼女の魅力とリンクしているように思えました。そして全体を通じてのキーワードの一つ「知ることは感じることの半分も重要でない」というメッセージと同種のを、以前、自然演習林・芦生の森を案内して下さったガイドの方からいただいていたことを、同じ感性で自然を守っている人がいることを、思い出しました。

大和朝廷のころ、森林の伐採にももの申す・世界最古?の自然保護法がすでに条例化されていた奈良県での上映、訳された原作を読んでいた私は「これを映画にするのはむずかしいのでは…」と、好奇心に似た感情で観賞したのですが、良くも悪くも予想外に素朴な映像であったので、頭と心の休憩ができたような、心地よくノスタルジアに旅したような、ゆったりとした空間に身をおけたように思いました。ゆっくりと時が流れる清廉な空間でした。

自然の大切さ貴重さを想うけれども、人工的なものを必ずしもつまらないとは思っていない私は、レイチェルのメッセージを、こんなにたくさんの方が受けとめ共感し、まわりに広がっているたくさんの自然に感じ、大切に21世紀で育てていきたいという、自然と共生した神秘さや不思議さに目を見張る感性、気持ちの大切さをプレゼントされてみて、環境と平和の重なりを実感しました。

(ならコープ組合員 Y・I)

アース基金総会と10周年記念の集い

7月21日大阪ドーンセンターにおいて開催され、総会冒頭、中坊公平理事長は次のように挨拶されました。「この10年間は樹木に例えれば『根』を広げる時期であったと思います。全て、物事は『根』をしっかりと貯えることが大切です。地球環境問題、自然破壊が言われ、21世紀社会において、自然と人類が共存し得るかが、焦眉の課題と言われる今、その想いを共有する方々の地域での活動が少しづつ広がり、アース基金協会にも力を寄せて頂いています。人間にとって何が大事かとの視点も含め『根っこ』をしっかりと貯えて未来に豊かな花を咲かそうではありませんか。」

総会のあと10周年記念の集いでは、音田昌子さん(読売新聞社編集委員)をコーディネーターに「2050年地球はどうなっている?」をテーマに5人のパネラーから問題提起をいただき、参加者と活発な討論が行われました。次に、2001年アースデーコンクールの表彰式が行われ28団体が優秀賞に選ばれ、「アースデー2001 inなら実行委員会」も選出されました。



中坊公平理事長のあいさつ



表彰を受ける前田アースデー実行委員長

上映会のお知らせ

いのちの地球「ダイオキシンの夏」

21世紀最大の問題は、環境破壊の現状から、いかにして生命が豊かに育まれる地球環境に変えていくか、ということではないでしょうか？ 映画「いのちの地球・ダイオキシンの夏」は、1976年に北イタリアの街セベソの化学工場の爆発事故によって引き起こされた大規模なダイオキシン汚染をもとに、児童文学者の蓮見けいさんが書いた「ダイオキシンの降った街」を原作として製作されました。「セベソ少年探偵団」、その正義感あふれる活躍と友情の物語を通じて、原爆を投下されたヒロシマの悲劇にも匹敵するダイオキシンの恐怖を描き、地球汚染への警鐘をならす意欲作です。「人間はいつだって支え合って生きてるの」「わたし達の未来は、わたし達の手で守るのよ！」未来を見つめたジュリアたちの闘い、美しい地球の未来のために・・・ちょっとのぞいてみませんか？!

ダイオキシンの夏上映会 (第12回奈良県生協大会)

テーマ 21世紀を環境の世紀へ!!
「今、私たちに求められている行動は」

日時 2001年10月27日(土)
10時～ 式典
10時20分～ 上映会
(終了予定11時45分)

場所 奈良県文化会館小ホール
(近鉄奈良駅より徒歩5分)

料金 無料(だれでもご参加いただけます)
多数ご来場下さい

主催 奈良県生活協同組合連合会
問合せ TEL 0742-34-3535 (担当=入口)



広がる協同・くらしの輪

第9回協同組合デーのつどいについて

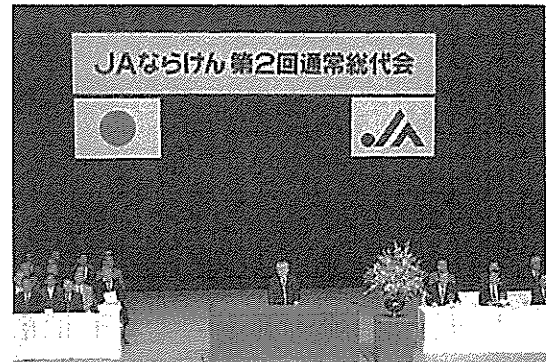
世界の協同組合に携わる人々が、平和とよりよき生活をめざして協同組合運動の前進を誓い合う国際協同組合デーの一環として取組み、7月2日農協会館において、農協、森林組合、生協から94名の参加で開催されました。今年は「日本の食と農についての考え方」と題してNHK番組制作局社会情報番組部チーフプロデューサー掛川治男氏より講演をいただきました。

掛川氏は、「食べ物新世紀」の番組制作に関わって、日本の農業の振興に寄与しようと、各地での新しい農業の取組みをテーマに取り上げていることを紹介されていました。



第2回JAならけん通常総代会

6月30日橿原文化会館において約900人の総代の出席のもと開催され、事業方針、事業実施計画等が承認されました。主催者代表のあいさつで高田会長が「米や野菜、果物などの消費低迷で厳しい経済情勢にあること、ペイオフ解禁を控え信用事業でも組合員への信用が一層大事になる事など、健全で信頼されるJAになるよう基盤強化に努めた」とあいさつされました。



すこやかセミナー(大学生協京滋・奈良地域センター主催)

7月7日キャンパスプラザ京都において、すこやかセミナー「学生の食と健康を考える集い」が開催されました。生産者、医師、管理栄養士、生協職員、学生を代表して各パネラーからの問題提起が行われ、分科会に分かれて「食べる大切」について話し合いました。



第17回平和のつどい(奈良YMCA主催)

7月20日奈良商工会議所において開催されました。「被爆地・広島から世界へ！核兵器廃絶に向けて」と題して広島市立大学広島平和研究所所長の福井治弘氏の講演と平和コンサートが行われました。福井氏は元国連事務次官明石康氏の後を請けて2代目所長として2001年4月より就任され、海外から日本を見てきた学者の目で「ヒロシマを世界に伝える」という課題に取り組んでおられます。



小林高県議会議長との懇談

7月31日県議会議長室において、小林高議長と懇談しました。新しく議長に就任された挨拶を兼ねて生協への理解を深めていただこうと役員との懇談を申し入れ、気さくに懇談に応じていただきました。



関西電力・大阪ガス経営問題懇談会(関消懇主催)

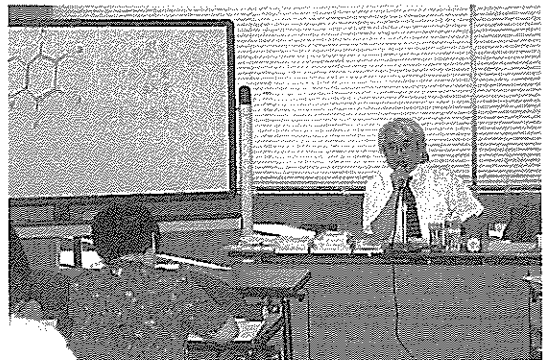
8月28日午前関西電力、午後大阪ガス本社事務所に於いて開催されました。各代表あいさつの後、関西電力では、事前配布の質問書にもとづいて、経営効率化計画、プルサーマル関連、新エネルギーの実用化促進、研究課題の進捗状況等について、大阪ガスでは、平成12年度の決算の概要、経営効率化への取組み、環境問題への取組み等について報告が行われ、その後、質疑応答を行いました。

関西消費者団体連絡懇談会総会

8月28日開催し、2000年度活動報告と決算について承認しました。2001年度活動計画については、自由化の流れとは言え、民間部門において、公共性を有する電力・ガス料金について、引続き関消懇として懇談会をもって、情報開示を求めていくこと等が確認されました。

食の安全懇談会

9月4日奈良県文化会館第1会議室において「食の安全」をテーマに宮崎隆典氏(ジャーナリスト・食品の安全最前線の著者)の講演会を開催しました。この講演会は食の安全署名に協力いただいた団体にも呼びかけて準備しました。当日、生活学校、生活衛生課、県民生活課、ならコープからの計15名の参加がありました。講演の後「第1回食の安全懇談会」を開催し、仲宗根理事から懇談会発足の意義と今後の方向性についての説明が行われました。



第13回近畿地区生協・行政合同会議

9月7日京都府公館において労働厚生省・近畿厚生局、日生協、2府5県の府県生協連・行政の担当部局から計49名の参加で開催しました。厚生労働省から「生協の課題」と「連絡事項」の報告、各府県生協連から「食の安全、たべるたいせつ」の取組みについて、「府県行政への期待・府県行政とのパートナーシップ」についての報告、各府県行政から「生協への期待と事業・機関運営」についての報告の後、意見交換を行いました。



近畿厚生局一瀬正志氏のあいさつ

つながる連帯・友好の輪

奈良教育大学生協

5月の総代会以降、連帯への取り組みを推進する為には何が教育大生協として必要なのか？特に職員の異動に伴い、定時職員の人達に総代会での方針に基づき、具体的にはどう運営して行くのか施策面での提示がまず第一歩でした。

6～7月にかけては職員の行動規範の再確認と教育大生協を知る事に終始致しました。このような中で、7月生協夏祭りを学生委員会主体で展開しましたが、天候にも恵まれず集客自体は苦しいものがありました。事業自体は前年の流れで運営していますが、「ならコープ」が取り組んでおられる「治道トマト」等はもっと学生組合員にしっかり提供すべき商品であったと反省しています。特に生産者と直結した商品への取り組みは大学生協内での「食と健康を守るセミナー」でも大いに関心を与えた内容だったと言えます。又、学内では8月末の土・日に絵本ギャラリーが開催されましたが、この企画についても生協として営業のみの参加ではなく、普段大学生がどのような食事を取っているのか、生活内容はどうなっているのか？パネル等で紹介し地域の方達に現在の学生の姿を知ってもらう活動をもっと行うべきであったと反省しています。

(専務理事 宮崎)

大阪樟蔭女子大学生協

樟蔭女子短期大学生協が大阪樟蔭女子大学生協になりました。学生も元気です。(特に、学生委員は現在20名。学内の最大学生組織に)取り組みでは、総会を組合員が参加運営できる場として、パフェのコンテストを行い利用も増えています。そして、学生自身が「自分達で楽しくする大学」という実感が生まれ、オープンキャンパスに、在校生が学生委員会を中心に、高校生に対して樟蔭の魅力や自分達の日常の生活を語っ

ています。実際に高校生アンケートにも「先輩と話が出来て良かった。絶対樟蔭に来ます。」という反応が返ってきて、学生委員以外の学生も「生協面白そう！」と学生委員も増えています。今まで「女子大なのに欲しいものがない！」というものをひとつ一つ実現して充実した大学生活を送れるような取り組みをどんどんはじめています。後期からは共済活動や学園祭、新学期の新入生の迎え方など、学生委員ひとり一人の思いから取り組みをしようと動き出しています。

(店長 羽賀)

奈良女子大学生協

今年の夏はとても暑くて大変な中「涼しい生協でゆっくり」を合い言葉に、食堂も購買も利用者が大きく伸びました。(1日1800人記録)大学の学事日程に大きく変更があり、夏休みが9月末までずれ込んだことも関係しています。夏休みの間に、奈良女子大生協でインターンシップの研修生(京都橘女子大学2回生、2名)を受け入れました。奈良の治道トマト農家に見学に行き、堀内さん(生産者)に学生と一緒に話を伺い、感動して働く事の意味を学び、生産者と消費者が一緒になって安全で美味しいトマトを作ることから、さらに一歩進んだ形で、トマトの気持ちになったトマト作り(栄養価やトマト本来のうまみと気候風土を大切にされた栽培)をめざしての果てしない努力に感動!!

さて現在、10月からは始めるケーキバイキング企画の準備を進めています。先日、第1回実行委員会を開きました。(専務理事 竹内)

奈良県立大学生協

組合員の食生活を支えようということで新メニュー作りを行いました。6月から始まったオムライス、普通のオムライスと違っておわん型です。卵はこだわってふんわり半熟。中のチキンライスは玉ねぎを甘くなるまでいためて素朴なオムライスの出来上がり。パート職員の小林さんの「食堂に飽きてほしくない。売上を落としたいくない。」という想いから始めました。値段は300円。食材の関係で1日20食限定です。気になる組合員の反応は大変良好。学生も先生も、大学の職員さんもオムライスを食べにきています。3日連続食べた学生さんもいましたし、何度もリピートする学生さんも大勢。今後は食数を増やせるように作業と保管に工夫をしていきたいと思います。(店長 崎濱)

奈良工業高等専門学校生協

8月に開催された大学生協連の「Peace now HIROSHIMA」に、初めて奈良高専から学生3名が参加し、多くの事を学びました。

平和とは何か?を考えながら4日間いろんなところへ行き、話を聞き、人それぞれの平和があるという事がわかりました。「戦争はなくなるか無くならないかではなく、無くすか無くさないかだ」の言葉を聞いて、自から行動していくことの大切さが判りました。全国から集まった仲間とともに、普段はあまり考えることのない「平和」について、自分の足で歩き、見て、感じたことが共有できたことを、これからも忘れずにいろんな活動に活かしていきたいと考えています。

(学生委員 横倉)

奈良労済生協

—全労済奈良県本部第25回・

奈良労済第43回通常総代会を開催!—

去る7月30日(月)に春日野荘において全労済奈良県本部第25回・奈良労済第43回の通常総代会を開催致しました。108名(内委任23名)の総代出席のもと、繁田県生協連会長をはじめ、多数の来賓の方々からご挨拶をいただき、第2期計画(2001年6月~2003年5月の2年間)の熱心な討議に入りました。

本年度は創立40周年を記念して各記念行事の実施を通じて県本部の運動と事業の更なる発展をめざすと同時に、県下3地区に地区推進会を設立し、各地区における全労済運動の再構築をはかることを基本目標として第2期計画を満場一致で採択いたしました。

役職員一同、この40年の節目の年を契機として、事業と運動の更なる発展に向けて、邁進する所存でございますので、これからもご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(推進2課 上田)



和崎純二理事長のあいさつ

県連日誌

- 7/16 平和行進実行委員会
17 府県連協議会
19 食の安全事務局会議
21 アース基金総会と
10周年記念のつどい
26 全国県連責任者会議
30 労済生協通常総代会
31 県議会議長との懇談
8/9 近畿地区府県連協議会
21 関西電力・大阪ガス
経営問題懇談会
21 関消懇総会
30 定款変更検討会議
9/4 食の安全懇談会
7 近畿地区生協・行政合同会議
13 第2回理事会・理事長交流会

お知らせ

㊦第12回奈良県生協大会

と き 10月27日(土) 10:00～
ところ 奈良県文化会館小ホール
内 容 映画「ダイオキシンの夏」の上映、他

㊦ひまわり号列車

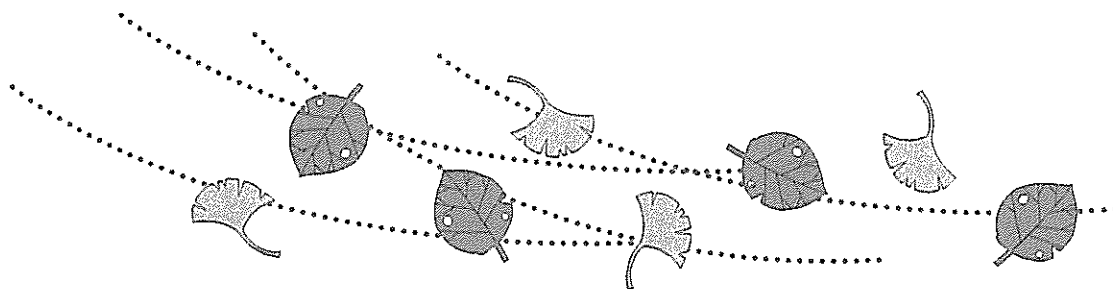
と き 11月3日(土)
ところ 山城多賀フルーツライン

㊦第2回生協・行政協議会

と き 11月15日(木) 16:00～
ところ 奈良県文化会館 特別会議室

㊦ノーモアウオーのつどい

と き 12月8日(土) 10:30～14:00
ところ あすなら苑
内 容 あの頃、子どもたちはどうしていたの？



編集後記

▽園芸学会近畿支部奈良大会が主催する「遺伝子組換え植物の光と影」と題して開催されたシンポジウムに参加した。その中で安全性の問題への関心は当然であるが、少数の企業による種の支配が進んでいるという事実が驚いた。科学者が人類の進歩を夢見て開発された核融合が原子爆弾という人類に大きな負の遺産をもたらしたように、将来の世界の食料危機に対して開発された遺伝子組換え技術も、人間の使い方によっては、人類に大きな負の遺産をもたらすのだからと考へさせられた。

(俊)

▽「春」の訪れというのは心嬉しいものだけど、私は「秋」がもっと嬉しく好き！自然の美しさを愛で清々しい心地で時のめぐりの語りかけに感謝し、文明の力で作り上げてもらった余暇を身近に生きている仲間への強力に向けるような人生の深みを持つ心で「風流」を味わうのにもピッタリの季節「秋」、と酔っていたら、ひーっ！！アメリカでの同時多発テロ：絶句…。

(恭)

▽今年の夏の暑さも厳しかったな。この夏は生ビールの味を覚えてしまった。毎夏恒例にしている学生の頃の仲良しグループ同窓会で、昨年までお飲み物は「ウーロン茶」と決めていた私が、今年は「とりあえず、生で乾杯やな。」と、音頭とりをしていた。

(寿)